

坂出市立病院経営強化プラン(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見等の要旨	ご意見に対する考え方(回答)	プランへの反映	摘要
<p>5 医師・看護師等の確保と働き方改革</p> <p>(1) 医師・看護師等の確保</p> <p>地方の医師不足のなか、このプランでは医師派遣は香川大学に依存し、関係を強化するとなっているが、例えば、香川大学だけに頼らず公募する、ある程度の費用は覚悟の上で他の病院から医師を引き抜く、とか他の方法は検討できないのか。</p>	<p>地域での良質な医療の安定的提供を目指す当院としましては、やはり地域の大学病院との連携は非常に重要だと認識しています。</p> <p>公募等については、他病院より待遇面でかなり有利な設定が求められますが、公立病院としては、医師などの報酬を相当な自由度をもって設定することは、困難であると考えます。</p>	<p>考え方は左記のとおりとなりますので、プランの変更等はありません。</p>	<p>市外 男性 (市内勤務)</p>
<p>9 経営の効率化等</p> <p>(1) 経営指標に係る数値目標</p> <p>入院・外来ともR6年度から最終年度まで、患者数が増え続ける目標となっているが、3 坂出市立病院の現状では、坂出市や県内の人口減少が記述されている。増え続けるとした理由はあるのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、坂出市のみならず、西部医療区域においても人口減少が続いていますが、患者数においては、令和2年度にコロナ禍で急激に減少して以降、毎年回復傾向にあります。加えて、坂出市立病院の住所別患者数をみますと、入院・外来ともに約半数は市外(主に西部医療区域)であり、日本医師会の地域医療情報システムJMAPにおいて、西部医療区域における医療需要は、2027年(R9年)あたりまでは増加する予測であることから、計画最終年度のR9年度までは患者数の微増を予測しています。なお、入院・外来ともに過去の最大数(入院 R元年度 55,840人・外来 H30年度 151,766人)は超えないこととしています。</p>	<p>考え方は左記のとおりとなりますので、プランの変更等はありません。</p>	<p>市内 女性</p>